

総合学科通信

夏号

—2020. 7. 31—

宮城県小牛田農林高等学校

総合学科推進部

総合学科生活 With コロナ

令和2年度の授業が6月からスタートし、あっという間に？(やっと?)夏休みが目前となりました。東京都における感染者数拡大のニュースを聞いたり、宮城県内での感染者が一日で13名も出たりする日もあり、改めて危機を感じるようになってきました。振り返ってみるとコロナ対策をしっかり行う新生活様式を実行しながら、無我夢中で過ごした2ヶ月でした。



さて、総合学科の皆さんは、この2ヶ月をどのように過ごせましたか。各年次の様子を報告いたします。

*** 1年次生：職業研究 ***

農林総合学科1年次として

本来ならば4月から学校が始まり授業を受けていたはずでしたが、新型コロナウイルスの影響により、気持ちの整理がつかないまま、6月1日から学校生活が始まり、夏休みまであと少しとなりました。高校で初めて学ぶ教科や総合学科ならではの教科など中学とは違った学習がほとんどです。しかし、先生が親身になって教えてくださるので将来のために頑張っていきたいです。(古川北中出身 Sさん)

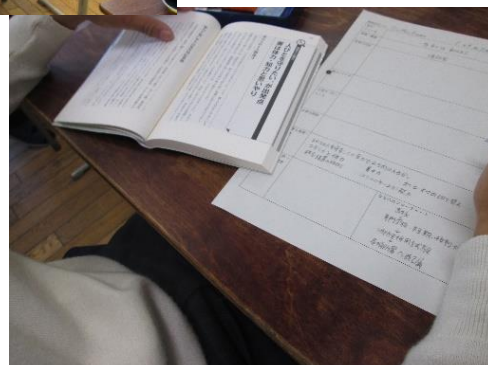
「産社」を学び始めました！

6月16日(月)の「産業社会と人間」の時間に、この学科の特徴でもある科目選択についてのガイダンスを受けました。そこで科目選択の仕組みを知り、自分の将来や進路について、自分自身と向き合いながら深く考えることが出来たと思います。10月の科目選択の決定に備え、一人ひとりが将来に向けた意識を高めていきたいと思います。(古川西中出身 Yさん)

なるにはブックスを
6冊読みました(汗)
初めて知ることが
多くて驚きました！

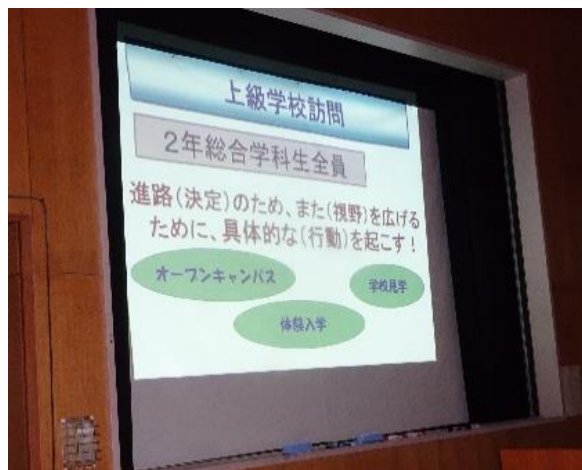


「業界を調べる」
というサイトは、
知りたい情報が
たくさん
ありました！



2年次生：上級学校訪問ガイダンス「先輩からのアドバイス」

さて、2年次生はどんな活動をしているでしょう。コロナ禍の影響で、オープンキャンパスに参加するのは心配という人も多いことと思いますので、必ず行くようにという指導は行っておりません。しかし、来年度の進路実現に向けて今行わなければならないことは、やはり、上級学校の比較です。現段階では就職しか考えていない人も、まず上級学校について研究をして、本当に就職を選択してよいか再検討するのは今です。オープンキャンパスに参加しなくても、資料を取り寄せたり、オンラインで情報を入手できる学校もあるかもしれません。各学校のホームページ等で調べた上で、保護者と相談しながら、研究を進めてください。



先輩からのアドバイスを受けて

6月8日(月)の「総合的な探究の時間」に、上級学校へ訪問された先輩方のアドバイスを頂きました。去年より更に自分の将来について深く考えることができていると感じています。今後開催されるオープンキャンパスに向けて資料をもとに準備をしているところですが、もう少し時間があるので、もっと詳しく調べてから訪問したいと思います。(古川中出身のAさん)



コロナ禍で迎えた学校生活

学校が再開して2ヶ月が経とうとしています。クラスの雰囲気にもコロナウイルス対策が徹底された現状にもだいぶ慣れてきたかと思ったら、夏休みに入ります。第2波という声も聞こえていますが、何事も慣れというものにはこわく、コロナ対策を自分の中で緩和してしまうことが多くなっています。意識して自分自身に注意喚起することが今必要なことなのではないかと感じていますので、感染予防に努めながら過ごしていこうと思います。(中新田中出身のFさん)

2年次生：職業人インタビューの中で

7月13日(月)には、地域の社会人の方々からご協力を得ることができ、実り多い職業人インタビューを実施することができました。6分野に分かれて、直接社会人の方々に質問をすることができ、普段から知りたかったことを教えていただきました。

分 野	講 師
公務員	涌谷町役場 総務課防災交通班 主事 中村 真 氏
サービス	SUMIRE hair make/SAKURA 美容師 佐藤 賢一 氏
技術・コンピューター	東北電子専門学校 第1教務部 教員 高橋 圭信 氏
製造・事務	YKK AP 株式会社 東北製造所 人材教育室 下飯野 智也 氏
看護・福祉	医療法人 華桜会 古川星陵病院 看護部長 三浦 芳子 氏
幼児・保育	社会福祉法人 宮城愛育会 古川みなみ保育園 保育士 加美山 莉菜 氏



～講師の先生が語った『印象に残った言葉』を抜粋しました～

- コミュニケーションをうまくとるためには「人の気持ちになって考える」「引き出しをたくさん作る」。
- 「人とのつながりを今のうちから大切にしていく。」
- 失敗をどう生かすかを考えて乗り越えていくことが大事。
- 良かったことが辛いことよりも多かったから、結果オーライ。
- 常にアンテナを張り新しい情報を取り込む。
- 子どもに対して、『ダメ』などの言葉は使わずに、言い方を変えて何がダメなのかを伝えること大事。
- ヒューマンスキルを高めよう。
- 人の死に慣れてはいけない。
- 新たなものを求めて発信。
- 正常がわかるということは異常がわかるということ。

上の言葉はどの分野のものかわかるものもありますが、どの職種にも共通するものも多くあります。生徒の感想から、多くのことを吸収できたことがうかがえます。現場からの生の声を聞くことができ、自分の苦しいことや好きなことと照らし合わせて、新たに自分の課題を見つけたり、ヒントを得たりすることができました。次はその課題をどう解決し、ヒントをどう活かすかです。頑張りましょう。

3年次生：進路実現に向けて



6月に学校が始まり、いつもよりも遅い時期の第1回考査。今回は異例で、3年次のみの考査となりました。就職・進学に直結する試験なので、本当に一生懸命に取り組んだようです。公務員試験以外は受験時期が1ヶ月遅れとなっていますが、準備期間が長く取れてよかったと思えるように、実際のスタートはいつも通りの時期にしておくことが大切です。備えあれば憂いなし！！

課題研究のテーマに沿って

私は「ネガティブ思考について」というテーマでレポートを作成しています。私が今、この授業で大変だと思うことは、きちんとテーマに沿って調査研究することです。調べていくうちに疑問が増え、だんだんテーマから外れてきてしまうので、その点に気をつけながらよりよいレポートを完成させていきたいです。

(古川中出身のRさん)

インタビューに伺います

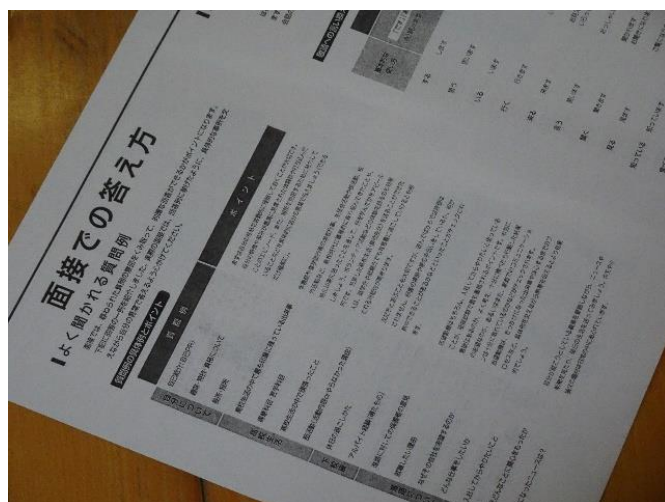
私は「子どもと運動の関係について」というテーマで、課題研究をしています。運動神経は遺伝だけから来るものなのか、興味があるからです。また運動神経を伸ばす適切な時期や方法があるかもしれないと思い、夏休み期間中に、母校の小学校と中学校を訪れ、体育の先生にインタビューをする予定です。貴重な時間をいただくので、充実したインタビューになるように準備をしています。

(七郷中出身のYさん)

進路に向けて

私が進路に向けて取り組んでいることは、自分が行きたい大学について調べることです。特に自分の志望している学部・学科の入試ではどのような試験が行われるのかきちんと把握しておく必要があります。大学のパンフレットを取り寄せて大学の入試情報を得ることで今後の学習の仕方が変わってきます。私は小論文と面接があるので、普段から文章を書く練習をしたり、正しい言葉づかいを心掛けたりしています。毎日の積み重ねが大事だと思うので、これからも自分の進路実現に向けてコツコツ努力していきたいと思います。

(名取二中出身のMさん)



GO FOR IT!!

短い夏休みですが、有意義に過ごしましょう！